国土交通省
Ministry of Land,Infrastructure,Transport and Tourism

東北地方整備局新聞

第3号
2025年(令和7年)
8月18日

発行所　国土交通省東北地方整備局　〒980-8602　宮城県仙台市青葉区本町3-3-1　仙台合同庁舎B棟　電話022-225-2171(代表)　https://www.thr.mlit.go.jp/

津波警報発令
防災ヘリで津波被害を調査

7月30日8時25分頃にカムチャツカ半島沖で発生した巨大地震（M8・8）により、東北地方を含む太平洋沿岸に津波注意報が発令された。

これを受け東北地方整備局では、8時30分に災害対策本部（注意体制）を設置。

9時40分には津波警報が発令、注意体制を警戒体制に移行した。

津波により港湾施設や遡上による河川周辺の施設等への被害が想定される為、モニターによる監視を強化した。

また、浸水が想定される道路では、利用者の安全を確保する為、沿岸部の国道45号線、108号線の通行止めを実施した。

津波による影響を確認するため、14時50分防災ヘリにて上空より調査を開始した。調査では津波の到来を確認したが、土木施設に被害は確認されなかった。

31日16時30分にすべての注意報が解除されたことから、警戒体制を解除した。

◇◆リエゾン派遣

青森県庁、岩手県庁、宮城県庁へ職員をリエゾン派遣し、津波による被害状況について、関係機関と情報共有を行った。

【リエゾン】ってなあに？

フランス語で「つなぐ、橋渡し」という意味。

災害が発生、または発生するおそれのある場合に、自治体に対し現地情報連絡員として派遣します。的確かつ迅速な災害対応支援を実施するため、積極的な情報の収集及び提供を行い、その後の円滑な支援活動に貢献しています。



災害対策本部





ヘリポートから飛び立つ防災ヘリ

※防災ヘリコプターは東北地方整備局で一機保有しており、大雨や地震などの災害発生時に上空から被害状況を把握します。

離発着は整備局の屋上から行うことができ、職員が搭乗し調査します。今回の津波時以外にも昨年の能登半島地震や大雨の際にも活躍しています。

青森港の振興に寄与
八甲田丸港フェスタへ参加

地域の賑わい創出

7月12日～13日に、みなとオアシスあおもり内の青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸で「八甲田丸港フェスタ」が開催された。このイベントはみなとの魅力を高め、地域の賑わい創出を目的として毎年開催され、多くの来場者で賑わう。



八甲田丸港フェスタ

◇◆地域と一緒に

公務員の仕事には、必要な情報を伝える『広報』と『情報発信』という仕事もある。ハード整備のみならず、地域の魅力や取り組みを住民に伝え、まちづくりを地域と一緒に進めることも大切な仕事である。



港湾業務艇「つがる」での湾内見学

青森港湾事務所では、港湾業務艇つがるを使用した港内体験航海や青森港をPRするためのパネル展を実施し、来場者へみなとの紹介と案内を行った。

港内体験航海では、青森港の説明や整備の進む洋上風力基地港湾の工事説明を行い、パネル展示では、青森港開港の四百年記念となる、歴史の紹介、訪日クルーズ船の寄港回数推移などを紹介した。

多くの来場者に「みなとの重要性」を楽しく学びながら、青森港を身近に感じてもらえる2日間となった。

国家公務員OPENゼミ第2弾
【文理対象】募集中!!

東北地方整備局の職場見学・業務内容の紹介を行います。HPから申込出来ますので、皆さんの参加をお待ちしています。

①8月27日（水）10:00～12:00
②8月27日（水）14:00～16:00
③8月28日（木）14:00～16:00

詳細はこちら▶

コラム
徹頭徹尾

◇◆メルマガを開始しました。

▽東北を支えるプロジェクトのお話
▽職員が語る”ほんとのところ”
▽リクルートイベントの情報の先取り・・・などなど、ここでしか読めない情報を発信していきます！

登録をお待ちしています！

登録はこちら▼



【問い合わせ先】
thr-kyousyuu@ki.mlit.go.jp
担当：企画部企画課教習係